



# 陣内俊 Prayer Letter

Designed by CORKSCREW DESIGN WORKS /2008/All Rights Reserved

2024年4-6月号

Vol.65

## 支援者の皆様へ

支援者の皆様、いつもお祈り、ご支援をありがとうございます。月日が経つのは早く、2017年に生まれた長女が4月に小学校に入学しました。自宅から徒歩10分以内のところにある武蔵野市立の小学校に通うようになり、今は近所の女の子と一緒に下校するのが楽しみなようです（1学年2クラスで、その子は別のクラスです）。給食、ランドセル、6月の運動会など、自分が小学生だった頃を思い出しながら、長女とともに二度目の人生を生き、成長させてもらっているような心持ちがします。昨年帰天した義父にもランドセル姿を見せてあげたかった気持ちもありますが、きっと天国で見てくれていることでしょう。次女も幼稚園の年中さんで元気にやっています。ゴールデンウィークに1日だけ出かけた「お台場 恐竜展」も家族で満喫しました。妻の自作の「デボーション」の習慣もついてきていて、様々な意味で成長していく娘を見られる恵みを噛みしめています。



## 関東学院高校三年生の修養会で奉仕

---

関東学院中高は前身の横浜バプテスト神学校として 1884 年に創立され、1919 年にミッションスクールとして認可されました。現在の宗教主任の先生と 15 年来のご縁があり、コロナ禍前には何度か高校 1 年生の 2 泊 3 日の修養会などで講師を務めており、2020 年には聖書の学びのシリーズを録画して生徒たちのオンライン修養会に役立てていただきました。先生も生徒も洗礼を受けたキリスト教徒は少数ですが、「人になれ 奉仕せよ」という校訓のもと、イエス・キリストを模範として生きること、神に祈りを捧げることなどは生徒たちの学校生活に根付いています。今回、数年ぶりに修養会の奉仕をご依頼いただきました。事前に修養会のテーマや内容について実行委員会の生徒たちとオンラインミーティングを重ね、これからの世界を豊かに生きるための「多様性」についてディスカッションし、聖書から学ぶ 2 日間（4 月 17-18 日）の奉仕を千葉県鴨川市の会場でさせていただきました。

誰よりも敬虔で妥協なきキリスト教徒だったからこそ、「他者の信念も自分の信念とまったく同じように尊重されなければならない」と主張して先住民を強制的にキリスト教に改宗させる政策に反対し、後のヴァージニア憲法や合衆国憲法の草案に影響を与えたロジャー・ウィリアムズの人生や、初代教会の多様性と包摂性がローマ帝国を揺り動かした過去を紹介し、「**分断の現代に多様性を言祝ぐ社会をつくるにはどのような考え方や信仰の姿勢が必要なのか**」について考えてもらいました。

約 240 名の高校三年生の生徒たちと先生方から好評をいただき、特に先生方からは「今後の授業の指針にしたい」などの好意的なフィードバックをいただきました。聖書の真理は不変ですし「奉仕せよ」という精神は同じですが、時代は変化しますからそれを実践するための知識や考え方は変わります。聖書の言葉を適切に実践していく大人になるために、それを現代の世界に「翻訳」して伝えることも私の大切な使命のひとつだと学んでいます。

## ヨナタンズ礼拝の仲間と東京レインボープライドパレードに参加

---

昨年の秋、不思議な導きがあり性的マイノリティ当事者のクリスチャンの方々の交わりに加えていただくようになりました。ある方（仮に A さんと呼びます）は自らが性的マイノリティだと気付いたとき絶望しましたが、その後海外でゲイカップルがストレートの信者とまったく同じように自然体で教会員として礼拝し奉仕している包摂的な教会の姿を見て感動し、希望を抱きます。しかしその後、知り合いの牧師が SNS で「同性婚は子孫を残さないので聖書的ではない」という内容の長文の投稿をし、その投稿に対して「そう、良く言った！」「私も長らくそう思っていた、その通り」などと賛同するクリスチャンによる多数のコメント群と高評価を見て「不特定多数のクリスチャンという集団」から自分の存在が糾弾され否定されているような恐怖を覚えました。ちょうど同時期に知り合いのクリスチャンからコンバージョンセラピー（\*注 1）を勧められ、深く失望します。

社会から差別や偏見を受けても「神様だけはありのままの自分を受け入れてくださっている」という信仰が最後の支えになっているけれど、教会やクリスチャンからの拒絶や断罪は「神もまた私を拒絶している」という感覚を伴うため、大きな拒絶感と心理的ダメージを受ける、と A さんは語ります。A さんは失意のなか「自分と同じようなセクシュアリティや悩みを持つ信仰者に会えるかもしれない」という一縷の望みを持ち、「どうか一緒に考えていく仲間を与えてください」と祈りながら 2017 年の東京レインボープライドパレード（\*注 2）に参加しました。

そこには「カトリック」「プロテスタント」のブースが一つずつあり、プロテスタントのブースで出会った同じく性的マイノリティの B さんと毎月ファミレスで聖書を学び、祈りを捧げるようになります。

その交わりは現在、都内某所で月に2回行われている「ヨナタンズ礼拝」へと成長していきました。昨年秋から不定期ですが私も参加するようになったヨナタンズ礼拝には現在、遠方からの参加者を含め性的マイノリティ当事者を中心に10名前後が集まり、「主を愛する性的マイノリティやアライが安心して礼拝を捧げ、信仰について語り合える場所」としての居場所を提供しています。

昨年の出会い以来、ストレートアライとして包摂的な教会の未来のために活動・発信する私の働きをAさんは応援してくださっています。体調的には今年の参加は見送ろうとも考えていましたが、「今年、陣内さんをプライドパレードに案内することが大切だ」という促しのようなものを感じ、4月21日に私を今年の東京レインボープライドパレードに同伴・案内してくださいました。その日、Aさんと共に代々木公園で過ごしたのは2時間ほどでしたが、多くは普段、ストレートのふりを強いられている当事者たちや支援者たちが笑顔で手を振り合うその空間には、優しさと幸せな時間が流れていました。

面白い「ハプニング」もありました。NHKのインタビューを受け、「ストレートアライとして参加しました」と答える私の映像が後日『君の声が聴きたい』という番組（5月4日18:05 NHK総合）で放映されたのです。後日私がインタビューに答える映像を見たAさんが「陣内さんを誘うよう促しを感じた理由はこれだったのかもしれない」と仰ってくれたことは、私にとって大きな喜びでした。

とはいえ無知や偏見、同性愛嫌悪（ホモフォビア）が残る日本社会（ときにはキリスト教会）でアライの立場を表明し続けることには勇気も要りますし、多くの当事者のクリスチャンは自らのセクシュアリティを公表できません。カミングアウトした結果、奉仕を外されるなどの経験をするケースも耳にします。皆様の祈りに支えられ、Aさんのような方が安心してありのままの自分で礼拝を捧げられるような包摂的な教会の姿を夢見て、今後も活動・発信・対話を続けていきたいと考えています。

\*注1：コンバージョンセラピー（転向療法）：同性愛者を「治療する」という理念のもとに行われるカウンセリングや「治療」。科学的なエビデンスがない上、米国では多くの心的外傷と自殺者を生む結果となった。「性的指向を後天的に変えられる」という科学的根拠はない」とする英米の医学会や政府機関による懸念表明などの結果、コンバージョンセラピーは現在、米国の20州とカナダ／イギリス／台湾／ドイツの一部などでは法律で禁止されている。

\*注2：レインボープライドパレード：1969年、ニューヨークのゲイバーに警察が突入し暴動となった「ストーンウォール事件」をきっかけに、それまで「異性愛主義／男女二分法」に同化することで社会に受け入れてもらおうとしていた性的マイノリティ当事者が「クローゼット」から「カムアウト」し、「私たちはここにいる！」とありのままの姿を可視化することで包摂的な社会を求める社会運動になっていった。現在では日本の各主要都市やアジアを含む全世界に広がっている。多くの当事者が「ストレートのふり」をして社会生活をするを事実上強いられている日本のような地域では性的マイノリティの存在を「隣人として可視化する」という重要な意味を持つ。



## 祈りの課題

- ◇純子・かなえ・ななみ・俊の体調が守られ、感染症、事故などからも守られるように。
- ◇翻訳した本『もしイエス様が市長だったら』が多くの人に届けられ、役立てていただけるように。
- ◇クリスチャンの LGBT アライとして発言を始めたことで失望を表明される方もいますし、同じ召しと使命感を共有しこれまで以上に応援して下さる方もいます。教会単位でも個人単位でも立場・意見が分かれる分野ですので、反対の声と応援の声をいつも同時に聞くことになります。神からの声のみに耳を傾け、包摂的な教会を目指し、隔ての壁を打ち壊したキリストの力を信じ「神の国」のために発言を続けられるように。
- ◇季節性鬱の発症予防のため今年も 8 月に北海道に滞在します。鬱が再発しないように。当地で有意義な時間を過ごし、良い出会いが与えられるように。東京に残る家族が守られ祝福のなかで過ごせるように。

## 2024 年 7 月以降の主な活動予定

| 月 日               | 内 容                   | 場所、補足          |
|-------------------|-----------------------|----------------|
| 7 月 30 日～8 月 31 日 | 北海道／青森に滞在（季節性鬱の予防のため） | 北海道／青森         |
| 9 月 17 日～20 日     | FVI キャプテンズテーブル        | 万座温泉ホテル（嬬恋村）   |
| 10 月 28 日         | FVI 総会                | 本郷台キリスト教会（横浜市） |
| 随時継続的に            | 聖書的世界観／包括的宣教の啓発・訓練    | 国内各地／オンライン     |

\* 上記は現在までで分かっている暫定的な範囲の予定です。

## 連絡先（奉仕・各種仕事のご依頼はこちらへ）

陣内への Email [shun@karashi.net](mailto:shun@karashi.net) 無料メルマガ、YouTube 放送、Podcast、ブログなど→「陣内俊」で検索

## ご支援のための献金方法

私の活動は、支援者の皆様の善意の支援献金によって支えられています。経済的支援をもってご協力くださる方は、お手数ですが以下のいずれかの方法で口座にお振込ください。ご支援を心より感謝いたします。

- ゆうちょ銀行口座番号 12110-91889141 名義：「陣内俊を支える会」
- 他行からの振込 店名（店番）：〇八九（ゼロハチキュウ）（089）預金種目：当座  
口座番号：0142825 「陣内俊を支える会」
- 郵貯振替口座番号 00830-1-142825 名義：「陣内俊を支える会」  
(同封の振込用紙がご利用いただけます。)

- \* 振込用紙をご入り用の方、ゆうちょ口座からの自動引き落としを利用されたい方はお知らせください。
- \* 振込用紙（赤色・手数料当方負担）を同封いたしますが、振込用紙は決してご支援を催促するものではありません。お振込くださるときにご利用ください。（毎月ご利用の方のために複数枚同封しています。）
- \* Prayer Letter の購読、自動引き落としを停止されたい方、またはお届け先の住所に変更がある方は、お手数ですが、上記連絡先のいずれかにご連絡ください。